

日羽協試験方法	類似ダウンの識別方法	JDFA-TM016 2018/11
---------	------------	-----------------------

序文

羽毛の組成混合率試験において、組成成分のダウンに包含される類似ダウンの識別方法を定める。

引用資料：

JIS L 1903 羽毛試験方法

JIS L 0216 羽毛用語

羽毛充填材料分類鑑別写真（日本羽毛寝具製造業協同組合発行）

1. 類似ダウンの定義

- (1) 類似ダウンは、フェザーの幹羽軸が柔弱で明瞭でなく、羽枝がダウンに似た立体構造を形成しているなど、ダウンに似た性能をもつもの。
- (2) 類似ダウンを製品に用いた時、羽軸の硬さが感じられず、柔らかく弾力性のある性能をもつもの。

2. 類似ダウンとフェザーの識別

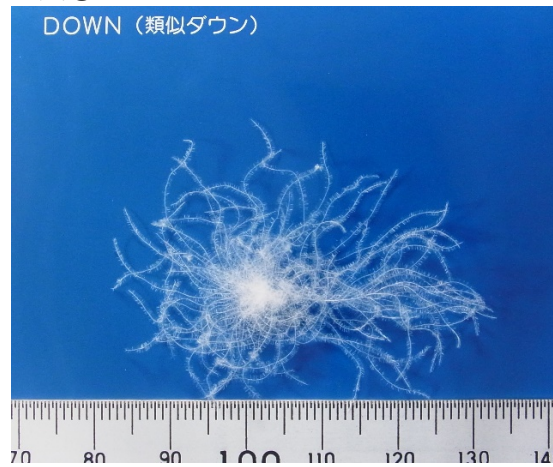
- (1) 類似ダウンの参考写真（羽毛充填材料分類鑑別写真）①から⑩を参考にして類似ダウンとフェザーを識別する。

1) 類似ダウンに分類するもの；写真①～⑦

写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦：羽枝が立体構造で幹羽軸が柔らかいもの



2) 硬さや形状などによってフェザーに分類する紛らわしいもの：写真⑧～⑪

写真⑧：羽枝が平面状のもの



写真⑨：羽枝が平面状のもの



写真⑩：羽枝が立体構造でも幹羽軸が硬いものはフェザーにする



写真⑪：羽枝が立体構造でも幹羽軸が硬く6.5 cm以上のものはラージフェザーにする



(2) 更に識別が困難な場合は、下記の項目を実施し、判断基準が4個以上類似ダウンに当てはまるものをダウンに識別する。

① 全体の構造

対象物を軽く振り、平面な場所に静置して、全体に対して半分以上が立体的か平面的かを判断する。

② 羽枝

対象物の羽枝の構造が、半分以上がダウンに近いフェザーに近いかを判断する。

③ 幹羽軸

元羽軸を持ち、幹羽軸に沿って指で挟みながら半分以上の羽軸の太さが触感で明瞭にわかるかを判断する。

④ 羽軸

3. 参考手順を参考に幹羽軸の先端から約 1/3 を持ち、ピンセットで元羽軸側を弾いたときの跳ね返りがすぐ元に戻れば、羽軸が硬いと判断する。

⑤ 元羽軸

生地から元羽軸が突き出しやすいかを形状と触感で判断する。必要であれば、添付白布(JIS L 0803 染色堅ろう度試験用 ポリエステル)を用いて突き抜ければ、硬く尖っていると判断する。

類似ダウンとフェザーの判断基準

	項目	類似ダウン	フェザー
①	全体の構造	立体的	平面的
②	主な羽枝	ダウンに近い	フェザーに近い
③	幹羽軸	触感で明瞭にわからない	触感で明瞭にわかる
④	羽軸	柔らかい	硬い
⑤	元羽軸	先端が柔らかい	先端が硬く尖っている

3. 参考手順：羽軸の硬さ判断手順

① 対象物を持つ



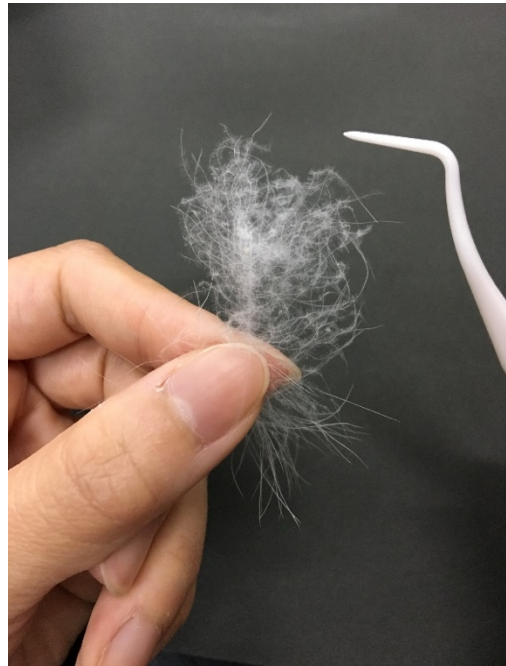
② 幹羽軸の先端から約 1/3 を持つ



③ ピンセットで元羽軸側を曲げて弾く



④ 跳ね返りを見る



以上 (2018/Nov/26)